

## 平成 24 年度 青森市国民健康保険運営協議会 会議概要

日 時：平成 24 年 5 月 22 日（火） 午後 1 時～午後 2 時

場 所：市議会 第 1 委員会室

出席委員：小田桐委員長（議長）、大矢委員、永井委員、船木委員、  
近藤委員、村上委員、村松委員、  
蝦名委員、長内委員、佐藤委員、羽賀委員、  
佐々木委員、工藤（宏）委員、菅原委員（計 14 名）

欠席委員：工藤（協）委員（計 1 名）

事務局：健康福祉部長 福井正樹、健康福祉次長 和田孝行、  
国保医療年金課長 木浪龍太、健康づくり推進課長 里村誠司、  
納税支援課長 川村敬貴、浪岡事務所健康福祉課長 齋藤実、  
国保医療年金課主幹 佐々木潤一、国保医療年金課主幹 寺山達郎、  
国保医療年金課主幹 工藤雅仁、国保医療年金課主幹 高村光昭、  
国保医療年金課主査 工藤一天、国保医療年金課主事 花田和俊  
（計 12 名）

### 会議次第

- 1 開会
- 2 健康福祉部長挨拶
- 3 報告案件
  - （1）平成 24 年度青森市国民健康保険事業特別会計当初予算について
  - （2）平成 24 年度青森市国民健康保険事業重点事項について
  - （3）平成 24 年度運営協議会委員の会議及び研修計画について
  - （4）その他
- 4 閉会

議事に入る前に、青森市国民健康保険運営協議会の公開について、事務局（国保医療年金課主幹）より、参考資料のとおり説明があった。

### **質疑応答**

なし

## 議事要旨

### **報告案件(1)平成24年度青森市国民健康保険事業特別会計当初予算について**

事務局(国保医療年金課長)より、資料1のとおり説明があった。

#### **質疑応答**

主な質疑応答は以下のとおり

- ・平成23年度に比べ、平成24年度は8億5,200万円ほど多くなっているが、赤字決算になった要因というのは、先進医療が増加していることも考えられるか。

(事務局)医療費保険給付が1人当たり約2.7%増加し、高額医療費も伸びていることから要因の一つと考えられる。

### **報告案件(2)平成24年度青森市国民健康保険事業重点事項について**

事務局(国保医療年金課長)より、資料2のとおり説明があった。

#### **質疑応答**

なし

### **報告案件(3)平成24年度運営協議会委員の会議及び研修計画について**

事務局(国保医療年金課長)より、資料3のとおり説明があった。

#### **質疑応答**

なし

### **報告案件(4)その他について**

(平成23年度青森市国民健康保険事業特別会計決算見込及び平成24年度6月補正)

事務局(健康福祉部長)より、資料4のとおり説明があった。

#### **質疑応答**

主な質疑応答は以下のとおり

- ・基金が0になることが最初からわかっているのなら、もっと早い段階で保険税の値上げなどを考えた方が良かったのではないか。

(事務局)赤字になるということは、税の見直し等が必要になるが、その場合、市民の皆様にお負担をおかけすることになるので、ギリギリまで努力をし、結果として赤字が回避できない状況になった時点で、税の見直し等について検討していくこととしている。

今回、平成 23 年度決算で、結果として 4 月の中旬頃に最終の保険給付費の状況が明らかになった時点で、赤字の決算見込となったところであり、議会にもご報告したが、ここから対応を検討していく。